

本年度は「心機一転」をテーマにして、皆様とともに明るい未来を考える本を紹介いたします。

今号は「機」に関する4冊の紹介です。

※書籍右横の番号はセンターでの検索番号です。



子どもと一緒に知る
「がん」になるってどんなこと？

2017年 セブン&アイ出版
林 和彦（編著）

[900-1]

死亡原因の1位は「がん」。2人に1人が「がん」になる。大切な人が「がん」になった3つの実話を通して、「がん」が発見され治療される時にどんなことが家族に起こるのか、どうしたらいいのかを考える。読み進めていくうちに、「がん」を正しく理解するためのヒントも書かれている。

学校での「がん教育」で子どもたちは「がん」への理解を深め、「がん」を予防するための生活習慣の改善や早期発見の大切さを学んでいる。家族や仲間の笑顔や声かけが治療の大きな力に。(ぽっと)



僕が家庭科教師になったわけ
つまるところの「生きる力」

2016年 太郎次郎社エディタス
小平 陽一（著）

[900-2]

家庭科が男女共修になった機会に、受験とかかわりのない家庭科だからこそやれる授業を期待して、化学教師から家庭科教師に移った著者。料理・裁縫だけではない家庭科は生活者の哲学。だいたい良しの隠し味。感覚や感性の世界。教師の生き方や考え方が問われ、なかなかしんどい教科であるが、やりがいのある教科でもある。夫婦共稼ぎで家事・育児に悪戦苦闘してきた私生活。苦戦した理由は生活技術がなかったこともあるが、知らず知らずに刷り込まれているあるべき姿、性別役割分業意識が根強くあったから。(ぽっと)



いま、翔び立つとき
女性をエンパワーすれば世界が変わる

2019年 光文社
メリンダ・ゲイツ（著）
久保 陽子（訳）

[1100-1]

「男女平等は女性の地位向上につながり、女性の地位向上は世界を変える」と訴える著者は、女性や少女への国際的な支援を行う世界最大規模の慈善団体、ビル&メリンダ・ゲイツ財団の共同議長。

本書では、その活動過程で出会ったパワフルな女性たちを紹介し、教育問題、児童婚廃止の取り組み、避妊手段の普及などの現状と解決策を提案している。

真の目標は絆を作ること、絆ができれば愛が生まれ私たちは一つになれると…。本書を手にした私たちがエンパワーされ世界を変える日はもうすぐ！（ルナ）



老〜い、どん！
あなたにも「ヨタヘロ期」がやってくる

2019年 婦人之友社
樋口 恵子（著）

[1200-3]

人生100年時代の先頭を歩む著者。「近ごろどうもヘンだ、満身疼痛（とうつう）であちこち痛み、立居振舞いのスピードも落ちてきた、視力聴力も怪しげで、まさにヨタヨタヘロヘロだ」と言いながらも、明るく活躍する姿を本書で公開。講演会やコンサートなどの、外出先でのエピソードも満載で実に微笑ましい。

健康寿命の延伸は、自立して生活できる時期の充実につながる。各章にこめられた「幸福な未来への提言」を心に留めて日々をポジティブに生きていこう。人生の最終段階まで、自分らしく輝き続けるために。(みっと)